

みずほCustomer Desk Report 2019/03/25号(As of 2019/03/22)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.73
TKY 9:00AM	110.82	1.1374	126.05	GBP/USD	1.3130
SYD-NY High	110.89	1.1390	126.18	AUD/USD	0.7107
SYD-NY Low	109.75	1.1274	123.83		
NY 5:00 PM	109.94	1.1300	124.24		
NY DOW	25,502.32	▲460.19	日本2年債	-0.1800	▲1.00bp
NASDAQ	7,642.67	▲196.29	日本10年債	-0.0700	▲3.00bp
S&P	2,800.71	▲54.17	米国2年債	2.3166	▲9.17bp
日経平均	21,627.34	18.42	米国5年債	2.2395	▲10.09bp
TOPIX	1,617.11	2.72	米国10年債	2.4364	▲10.14bp
シカゴ日経先物	21,440.00	0.00	独10年債	-0.0135	▲5.50bp
ロンドンFT	7,207.59	▲147.72	英10年債	1.0130	▲4.90bp
DAX	11,364.17	▲185.79	豪10年債	1.8330	▲6.00bp
ハンセン指数	29,113.36	41.80	USDJPY 1M Vol	6.29	0.66%
上海総合	3,104.15	2.69	USDJPY 3M Vol	6.50	0.40%
NY金	1,312.30	5.00	USDJPY 6M Vol	6.95	0.37%
WTI	59.04	▲0.94	USDJPY 1M 25RR	-1.38	Yen Call Over
CRB指数	184.15	▲1.22	EURJPY 3M Vol	7.45	0.33%
ドルインデックス	96.65	0.16	EURJPY 6M Vol	7.83	0.27%

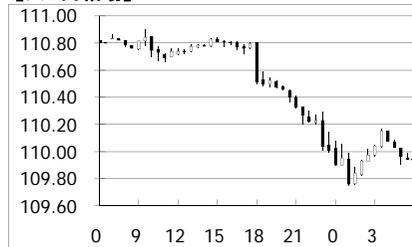
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月22日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	2月 0.2%/0.7%/0.4%	0.3%/0.8%/0.4%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	3月 52.5	53.5
	23:00	米 中古住宅販売件数	2月 5.51m	5.10m

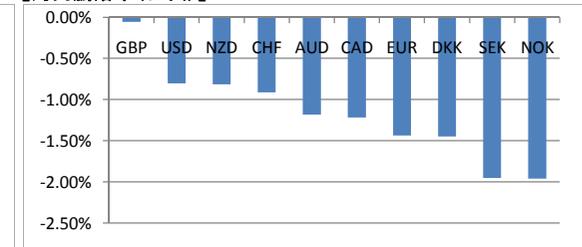
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月25日	14:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	18:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	3月 98.5/94.0/102.9	98.5/93.8/103.4
	19:00	米 フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	2月 -0.38	-0.43

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.60-110.60	1.1270-1.1370	124.00-125.00

【マーケットインプレッション】

先週末海外時間のドル円は軟調な展開となった。ドイツや米国3月製造業PMIがいずれも市場予想を下回ったことを受け、世界景気減速への懸念が広がり、米長期金利の大幅低下と共に、ドル円は110円台後半から一時109.80レベルまで下落した。本日のドル円は上値重く推移すると予想。本日はゴトウ日であり、仲値にかけてドル円が上昇しやすいものの、引き続き世界景気減速懸念や英EU離脱を巡る不透明感が根強く、また、今週はFRB高官の講演等が予定されており、景気に慎重な見方が出れば一段とドル安が進行するだろう。本日のドル円は109円台後半での上値重い推移になりそうだ。

東京	東京時間朝方、EU首脳会議は英国に対し、下院がEU離脱合意案を可決すれば5月22日まで、可決できなければ4月12日までの離脱期日延長を承認することで合意したとのヘッドラインを受けて英ポンドはやや強含んだが、ドル円に対する影響は限定的のまま110.82レベルで東京オープン。FOMC後の堅調な米株を受けて高く寄り付いた日経平均につれて、一時東京時間高値110.89をつけるも、日経平均が反落の様相を見せると110.66まで軟化。その後も日経平均がじりじり切り上げる形に合わせてドル円も110.80台を回復するも、値動きは小幅に留まり110.81レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円はリスクセンチメントの悪化を受け下落した。110.81レベルでオープン。3月製造業PMIが独は44.7、ユーロ圏は47.6と双方数年来の低水準となった。世界貿易を巡る緊張等が反映され欧州景気後退懸念が強まりユーロ円の売りが進んだ。加え一昨日の予想以上のハト的なFOMCの結果や欧州を中心とした世界経済先行き不安から米金利が低下。ドル円は安値110.20を付け、110.33レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は、110.33レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫らく続くが、軟調な米株が下げ幅を拡大させる展開に再び円買いが優勢となり、2/11以来に110円を割り込む。その後は米2月中古住宅販売件数が予想を上回ったことから一旦下げ止まったものの、株式市場では売りが継続し一時450ドル下落し、VIX(恐怖指数)も1月来以上のレベルまで上昇する展開に、ドル円買いが強まり、ドル円は109.75まで下落する。午後は週末を控えたポジション調整から徐々に値を戻すものの上値は重く、109.94レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1299レベルでNYオープン。朝方は急速に売られ過ぎとの見方から1.1310まで戻す局面もあったものの、ユーロ円が1/25以来に124円を割り込む展開に、ユーロドルも上値を抑えられ1.1274まで下落する。午後は調整から一旦1.13台へ戻すものの、軟調な動きが続き、1.1300レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:ウー・綱島